

無線局損失補償請求明細書

免許番号	※ 無線局免許番号を記載する。		無線局名	※ 呼出名称又は船名を記載する			免許人	○□協会	代理人	(株)○△無線	
損失補償請求額	①+②+③の合計金額を記載。		送金先		○×銀行 △△支店		工事業者の名称	□△無線工業		指定変更命令書	
	金 232,700 円也		口座番号	12345678				工事業者の住所	※ 市区町村以下の住所を記載する。		総基衛第○×号
			口座名義人	港務 太郎		当座・普通					平成 年 月 日
材料費	装置区分	CH	ROM書込			基盤換装					備考
			型式	個数	単価(円)	型式	個数	単価(円)	合価(円)		
	第1装置								9,600	ROM書込	
	型式	FM-2677/C	86	MBM27C128	1	9,600				税込額とする。	
	第2装置									税込額とする。	
	型式	IC-57J				GX550J	1	78,000	78,000	本体を含む基盤交換	
	第 装置										
	型式										
	送信機以外の材料費	概要					個数	単価(円)	合価(円)		
	空中線系	第2空中線、給電線					1	49,000	49,000		
制御系											
合計					税込額とする。		円 ①	136,600円			
工事費	装置区分	時間(H)	人数	工賃単価(円)	合価(円)	工事の内容					
	第1装置	0.5	2	9,800	9,800	■ROM書換 □基盤換装 ■各部調整 □その他()					
	第2装置	1	2	9,800	19,600	□ROM書換 ■基盤換装 ■各部調整 □その他()					
	第 装置					□ROM書換 □基盤換装 □各部調整 ■その他(空中線換装工事)					
	送信機以外	2	2	9,800	39,200	工事実施場所等		※周波数変更の施工日、施行地(海岸局、メーカー等)の住所を記載する。			
合計					②	68,600					
交通費	利用交通機関等	区 間(片道)			往復の金額等(円)	参 考 事 項					
	□ 鉄道	~				鉄道、バス、タクシーについては、往復の実費額を金額欄に記載し、タクシーは区間欄に片道の概略の距離数(km)を併記する。 区間欄に片道の概略の距離数(km)を併記し、金額欄に往復距離数と距離単価を乗じた額を記載する。高速道路を利を要した場合は、参考事項欄に詳細を記載し、金額等の欄に計上する。 借りた日数及び走行距離を記載、金額欄にはレンタル費及びガソリン費を含めて記載する。 パックの場合は、交通費を含めて計上する。					
	□ バス	~									
	□ タクシー	~ (km)									
	■ 社用車	横浜 ~ 名古屋 (500km)			27,500						
	□ レンタカー	日									
□ 宿泊費	泊 日										
合計					③	27,500円					

※ 参考事項欄には、設備の基盤換装の場合は、型式検定機器番号又は適合表示証明番号、添付する信憑書類名及び周波数変更のための工事の実施及び損失補償請求に関し、参考となる事項があれば記載して下さい。